

# 岐阜県代協ニユ

2021年 2月

vol.311



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

# 『会長挨拶』

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

えんどう よしかつ

会長 遠藤 昌克

間もなく東日本大震災から10年が経ちます。節目の年であることから、日本代協では原点を見つめなおし、改めて日常のリスクを再認識し、お客様・ご契約者様が一番近くで安心を支える活動を強化するためPR動画を作成いたしました。「日本代協 YouTube チャンネル」にて2021年1月1日から公開していますのでご確認ください。



そんな中、2月13日福島県沖を震源とする最大震度6強の大きな地震が発生しました。今回の地震は東日本大震災の余震だそうです。まだ余震があるのかということと「東日本大震災を忘れるな」という警告ともとれるタイミングに大変驚きました。幸いに死者は出なかったものの、建物の損害や負傷された方も多数いらっしゃいました。この地震で被災されました地域の皆様には心からお見舞い申し上げますと共に私たちはさらに災害に対しPR活動をして行かなければならないと実感しました。

さて、今年度の代協活動もあとわずかになりました。全国の代協では「目指せ、三冠王！！」達成を目標としています。①コンサルティングコース受講者②仲間づくり（会員増強）③日本アカデミーID登録数④ぼうさい探検隊⑤出前講座のうち3つの目標を達成すると「三冠王」が取れます。岐阜県は3月末までに①②③の目標を達成しようとしています。①のコンサルティングコースにつきましては皆様のご協力をおもちゃまて15名に対し19名登録で達成しております。ありがとうございました。②仲間づくりはあと4件となりました。3月に東海・北陸合同ブロック協議会緊急セミナーが開催されます。未会員代理店の方も受講可能です。ぜひお声をかけ仲間づくりにご協力ください。③アカデミーIDにつきましては、登録の仕方がわからなくて未登録だという声をよくお聞きします。そういった方の為にも登録方法をもう一度案内したいと思います。また2名以上の費用を支払っている方は9名まで同じ料金です。社員が2名以上にいらっしゃる方は全員登録をお願いいたします。3月末までに何とか「目指せ、三冠王！！」を達成しましょう。皆様のご協力を心よりお願いいたします。

また、先に少し触れましたが、会員の皆様のところには3月12日開催、東海・北陸ブロック合同緊急セミナーの案内がFAXにて届いたかと思えます。代協ニュースを郵送希望の会員の方には本号にセミナー開催案内ちらしを同封しております。郵送を希望されていない会員の方は岐阜県代協ホームページ「事務局からお知らせ」にもご案内がありますのでご確認ください。

このセミナーの内容は「鬼の成島検査官」が語る！！金融庁検査の着眼点と題し、Webセミナーにて開催されます。講師は昨年9月まで金融庁で代理店検査を担当され、その後日本代協アドバイザーに就任されました成島 康宏 氏です。私はこの講演を昨年12月8日開催の第2回会長懇談会の際のセミナーで聴講させていただきました。金融庁の着眼点には目からうろこの話がザクザク・・・本当に参考になる話でした。さっそく岐阜県代協の三役会や理事会にてその感想をご報告させていただきました。するとやはり全国の会員からもぜひ聴きたいとの要望が多く、東海・北陸合同ブロック協議会にて合同開催という形とはなりましたが、ようやく実現したセミナーです。是非とも受講してください。

1 p・・・会長挨拶／目次  
2 p・・・スケジュール／事務局より  
3 p・・・代理店紹介  
4 p・・・中さんの保険諸国漫遊記（178）  
5 p・・・保険ジャーナリスト  
6 p・・・中崎章夫

7 p・・・『街道シリーズ』（美濃路その14） 松尾 一  
8 p・・・提携事業者広告掲載①  
9 p・・・提携事業者広告掲載②  
10 p・・・提携事業者広告掲載③  
11 p・・・委員会報告／編集後記

# スケジュール/事務局より

## ～ スケジュール ～

	日付	主催	行事・議題・内容など	開催場所	
2	10	水	東海ブロック	東海ブロック会議	Web 会議
	16	火	組織	委員会(14:00～)	Web 会議
	17	水	CSR	委員会(14:00～)	Web 会議
	22	月	県代協	三役会(14:00～)	Web 会議
	22	月	岐阜	役員会(12:00～)	Web 会議
	24	水	企画環境	『代理店賠償セミナー』(14:00～16:00)	Web セミナー
3	3	水	西濃	例会開催予定(11:30～)	五右衛門
	5	金	日本代協	日本代協臨時総会	Web 開催予定
	5	金	広報機関誌	中日新聞広告掲載	中日新聞
	9	火	中濃	例会開催予定(10:30～)	調整中
	11	木	東濃	例会開催予定(11:30～)	みわ屋
	12	金	東海ブロック	東海・北陸合同ブロックセミナー(16:00～)	Web セミナー
4	6	火	県代協	理事会(13:30～)	瑞穂総合センター(予定)
	9	金	飛騨	支部総会(18:30～)	保険相談オフィス 問屋町店
	13	火	中濃	支部総会(11:00～)	調整中
	15	木	東濃	支部総会(11:00～)	(株)アシストアイ 事務所
	20	火	岐阜	支部総会(14:00～)	メディアコスモス
	23	金	西濃	支部総会(14:00～)	スイトピアセンター
5	13	木	県代協	定時会員総会(13:30～)	メディアコスモス

### ★『損害保険トータルプランナー新聞広告』について

2月27日(土)朝刊に掲載予定でしたが、**2021年3月5日(金)の朝刊**に掲載です。是非ご覧ください。都合により変更となりましたことお詫び申し上げます。

### ★東海・北陸ブロック協議会 合同緊急セミナーのご案内

東海・北陸ブロック協議会主催の「緊急セミナー 金融庁検査の着眼点」を3月12日(金)16:00より開催することが決定しましたのでご案内いたします。

セミナーの内容につきましては本号同封のちらしをご覧ください。

お申し込みは同封のご案内ちらし記載のQRコードからか、もしくは下記URLから「申し込みフォーム」にお入りいただきお申し込みください。

(岐阜県代協ホームページ「事務局からお知らせ」にもご案内があります。

<https://forms.gle/bsut2rKdcxwhgFRD7>

申し込みフォームに入力し送信していただき「申し込み受け付けました」の画面が表示されれば受付完了となります。先着1000名様限定ですので、お早めにお申し込みください。

岐阜県代協事務局

TEL : 058-329-0050 FAX : 058-329-0040

Eメールアドレス : [gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp](mailto:gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp) (担当:小川百合子)



# 代理店紹介

## 西濃支部 有限会社 大垣総合保険Plus One

### <代理店名>

有限会社 大垣総合保険Plus One

### <所在地>

〒503-0032

岐阜県大垣市熊野町5丁目9 7

Tel 0584-93-1357

Fax 0584-93-2468

E-mail mail@ogi-plusone.jp

### <代表者>

松岡 英祐



### <スタッフ>

### <スタッフ>

8名(男5名、女3名)

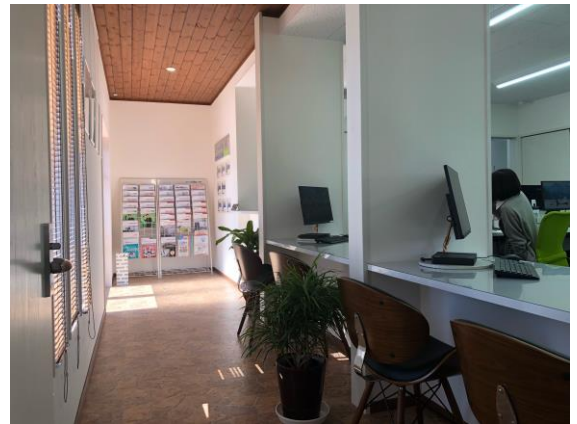
河村 拓也 ・ 松岡 英祐 ・ 西尾 丈彦 ・ 岩田 喜久雄 ・ 松岡 宏史  
松岡 直美 ・ 河村 陽子 ・ 浅井 蘭子

### <取扱保険会社>

損保 損害保険ジャパン株式会社	計 1社
生保 SOMPOひまわり生命保険株式会社	
第一生命保険株式会社	計 2社

### <略歴>

1987年 保険のコンサルタント マツオカ開業  
2003年 有限会社 マツオカ設立  
2014年 有限会社 大垣総合保険Plus Oneへ商号変更  
2018年 有限会社 浅井保険サービスと合併  
2020年 事務所移転  
株式会社 不破総合保険と合併  
現在に至る



### <事務所の環境>

閑静な住宅街の中で、スタッフ全員が笑顔で活躍しています。  
国道21号線より417号線を北へ500m  
北条クリニックとセブンイレブンの信号交差点を西へ300m  
レストランArvoの交差点を左折してすぐ。



### <経営方針>

保険のプロとして「最適な提案とサービス」を提供し、安心と納得をお届けします。

## 生損保でDX（デジタル社会改革）対応が活発化

### — 保険デジタル基盤開発や代理店コンサルカアップ、契約第一主義からの脱却の動きも

#### ◇祝い事で大阪での味めぐり

2月中旬、2泊3日で、感染対策をばっちりして、娘の住む食い倒れの街大阪の味を楽しんだ。緊急事態宣言下での祭事は極力自粛が求められる時節柄、当人たちも迷いもあったようだが、4月からは兩人とも仕事を変え、神奈川に引っ越しということもあり、とりあえず家族のみでの簡素な式で人生の門出を祝おうと簡素かつミニマム形態で行うことになった。折しも不要不急の外出が自粛されていたためか、週末ではあったが乗り物、宿泊、飲食店など閑散としていたため、人の流れがこうも違うのかと驚きの連続であった。

大阪では、初日昼、北区扇町公園近くの今雪という評判のうどん屋で、きつねうどんと玉子かけご飯のセット（750円）をいただいた。イリコと昆布でとったお出汁が絶品なきつねうどんに、天かすが入った卵かけご飯がおいしい。また北野病院そばのパティスリーラヴィルリエというこれまた行列のできるフランス菓子屋で30分並んで、ピエール・タンタシオン、ガトーシャンティ、ラパン、ポドクレームマロンマロンという4種のケーキを購入、これまた実にうまかった。

#### ◇てっぼうを楽しむ

夜は予約していた天神橋2丁目のフグ料理福島あじ平天神橋別邸個室で娘と3人で、トラフグ料理（コース6,600円）を堪能した。大阪はフグの最大消費地、「てっぼう」（共に当たると死ぬから来ている、秀吉の頃からフグを食することが公には禁止されそれは明治の中頃まで続き、その間も、「てっぼう」なる隠語で庶民はフグを楽しんだ）とも呼ばれ、皮の湯引き（てっぴ）、刺身（てっさ）、唐揚げ、てっちり（フグ鍋）、雑炊、柚子シャーベットが楽しめる。追加で季節限定の白子の刺身、とうとうみ（本皮）のあて（ポン酢韓国風）もいただく。フグのひれ酒も、また磯自慢のロックも飲め大満足だった。2日目は昼、立ち食いのつるまる饅頭で、てんぷらうどん（300円）と紅生姜天、イカ天を食べる。

#### ◇家族揃ってお好み焼き

大阪天満宮は、土曜で、合格祈願などの参拝客もそれなりに来ていたが、式はさすがに私ども一組のみ。大阪天満宮で両方の家族のみ総勢8人参加の神式で荘厳な式典、その後会館内で食事、料理はとても満足のいくものであった。こんな折でもなければ親子5人が勢ぞろいすることなど望むべくもない。お酒、焼酎、梅酒そして赤ワインをいづれもロックでいただいた。

式が済み、ほっとして、夕方、娘を交え家族揃ってお好み焼きゆかり天三店で、ソース焼きそば、ネギ焼き、天三焼き、牛タン焼を食べ、酎ハイ「へべす」や赤ワイントニックを飲む。

#### ◇通天閣初登頂、♫はたこ焼き

3日目は、日曜、皆で新世界へ繰り出す、浪速の街、串カツ、土手焼き、寿司屋、河豚屋、お好み焼きやなどのB級グルメの店や将棋・囲碁会所が林立するところ、午前10時、快晴で素晴らしい天気だったが、しかもコロナ禍ということもあり、人通りがほとんどない不思議な光景であった。108mの通天閣の特別野外展望台に初めて上る、鎮座するなにわの福の神のビリケンさんを拜む。これがそもそもはメリケン産だと初めて知る！ここからの四圍の眺めは最高だ。跳ね出しデッキでは肝を冷やした！昼新大阪の地下街のたこ焼きわなかで熱々のクリーミーなたこ焼きと生ビールで大阪味な旅もピリオドとなった。おかげで、ウエイトが3キロも戻ってしまったことを後に知る。

#### ◇年初からデジタル基盤構築に活発な動きの保険業界

2021年に入り、コロナ禍の長期化で、デジタルシフト、オンラインシフトが一段と活発化し、販売チャネルのオンライン拡大を図るなど保険会社のDX（デジタルトランスフォーメーション）戦略が一段と進展しつつある。

EC（電子商取引）やシェアリングサービス活発化に伴いそのスマホユーザー利便を図ることや、本年秋冬頃には始まる金融仲介サービス業者としてのプラットフォームの市場参入への対応を図るなどが背景にある。

SaaS（ソフトウェア・アズ・ア・サービス）を活用し、脱自前主義の、オープンイノベーション（企業の

内部と外部との技術やアイデアの流動性を高め、組織内で創出されたイノベーションをさらに組織外に展開する提携／協創の革新的試み)が活発化している。

#### ◇スタートアップと連携でDX対応

こうした外部との連携については自社で開発したデジタル基盤をWeb公開したり、インシュアテック（保険テック）といわれるスタートアップ企業と提携した試みが始まりだしている。こうした背景には、保険会社は、膨大かつ複雑怪奇な縦割りのレガシー（過去の大きな遺産）システムを有しているが、新たなデジタル化に縦横無尽に身軽かつスピーディに立ち回れないのが悩みの種となっている。こうした中で、スマホの高機能化で開発費が膨らんでおり、スタートアップなどの助けを借りて新たな商品開発やマーケット開発につなげる脱自前主義の選択は不可避となりつつある。インシュアテックの三種の神器は、AI（人工知能）、ブロックチェーン（分散台帳）、API（アプリケーション・プログラミング・インターフェイス＝企業間でのソフトウェア機能の共有の仕組み）の3つだといわれる。

中でもAPIは自社の一部のソフトウェア機能をWeb上で公開して他のソフトウェアと機能を共有する仕組みで、今後この分野で新たな展開が活発化しそうだ。保険会社は、インシュアテック（保険テック）のスタートアップ企業と連携し、市場開拓や商品・サービスの開発をスピーディに図るデジタル化戦略を進めつつある。また顧客管理、商品・サービス開発とともに、主要チャネルの代理店管理面でもDX対応を急いでいる。

#### ◇保険版APIによる汎用型保険システム提供

すでに保険版APIの試みとしては、2021年1月にMS&ADグループ傘下の損保会社2社が旅行業界向けに汎用型の保険契約システムを提供するなどの展開がみられる。

このうち三井住友海上は、DXの一環としてビルト・イン型保険を開発、これは、デジタル保険販売プラットフォームを、システム連携の仕組みであるAPIを使って保険契約システムを開放し、デジタルビジネス事業者とデータ連携させて、EC（電子商取引）やシェアリングサービスの利用者に「適切なタイミングで、必要な保険に、簡便に加入したい」というニーズに応え安心と安全を提供するための保険の総称だ。その第一弾が旅行業界事業者向けとなる。

また、あいおいニッセイ同和損保は、デジタル上で手続きが完結できる新たな保険販売の仕組み構築についてインシュアテックのスタートアップのFinatextと共同で（同社の保険クラウド「Inspire」を採用、保険の基幹システムをSaaS化したサービス）次世代型保険販売システム「デジタル募集基盤」を開発（実開発期間2ヵ月で実現）、プラットフォームが保有するアプリやWebサイト上で、プラットフォームのサービスと連携し、サービスと親和性のある保険商品を提供するための基盤となる。これにより、顧客がWebやアプリ上でもストレスなくシームレスに保険契約ができるようになる。<https://hd.finatext.com/about/downloads/>

#### ◇デジタル保険基盤開発でスタートアップ企業との連携

保険スタートアップ企業のジャスト・イン・ケース・テクノロジーズ（代表取締役 畑 加寿也）は、スマートフォンアプリなどを開発できる自社のデジタル保険基盤のSaaS型システムである「Master」の提供を開始、1月末までに、初期パートナーとして東京海上日動火災保険とジェイアイ傷害火災保険の2社に提供するほか、今後他の保険会社への提供も検討中のようだ。<https://justincase-tech.com/>

「Master」は1）クラウドを利用したシステム基盤（保険契約の管理）、2）アプリ基盤（スマホ用アプリの開発）、3）マーケティング基盤（ウェブマーケティング向けのデータ分析）、の3つからなり、保険業務運用の効率化や顧客接点の増加、そして契約数の増加を実現することができ、これらの機能は、SaaSのユーザーである保険会社の要望に応じて組み合わせ提供が可能だ。

保険会社は保険商品の市場投下をこれまで以上に迅速に行うことができるようになり、優れたUX（顧客体験）を顧客に提供することが可能となる。デジタルでの保険商品提供を2年にわたり行ってきた経験に基づき、「Master」は単なるシステムの提供のみならず、デジタル商圏における保険商品のマーケティング機能も搭載。

これまで、兄弟会社のjustInCaseは少額短期保険業者としてこれまでにない保険商品を世に送り出し、同社はクラウドを活用した保険テックシステムをjustInCaseに提供し、justInCase開業から約2年で5つの自社保険商品と、他社との協業による保険サービスを複数開発してきたが、SaaS型共通基盤を開発することで、justInCase以外の保険会社・少額短期保険業者・共済事業者をサポートしていきたい、としている。

#### ◇AI活用による代理店コンサル力、提案力アップの動きも

損保各社では、DX対応で、AIを活用した保険提案のレベルアップを図り、これにより、代理店のコンサルティング力と最新のテクノロジーの「ベストミックス」による顧客への価値提供を図ろうという動きを活発化している。すでに三井住友海上は、顧客体験価値を高めるため、AIを活用した代理店サポートシステム「MS! BRAIN」を2020年2月に稼働させ、代理店は、ビッグデータ分析に基づいて、顧客ニーズを把握でき、最

適な商品やサービスを、的確なタイミングで提案できるようにナビゲートするものだ。

また、東京海上日動は、顧客の年齢・性別・家族構成等の属性情報と生損保の契約情報をもとに、AIが生損保一体のおすすめプランを設計する機能を業界で初めて開発し、ビジネスモデル特許を出願した。2021年6月より、「超保険」に本機能を導入し、高いコンサルティング力を有する代理店が本機能を活用して顧客に提案することにより、「新しい保険提案のカタチ」を実現する。

同社は、2002年の生損保一体型保険「超保険」発売以降、コンサルティングによって顧客一人ひとりに合った補償をお届けする取組みを推進し、どのような顧客がどのような補償に加入されているかという契約情報を蓄積してきた。超保険の発売以来、1万1,000代理店が取り扱い、約200万世帯達成と、パーソナル分野の同社の基軸商品となっている。今後、AIを活用することで提案の時間短縮と補償・保障の最適化につなげることで、これから5年で50億円の増収を見込む。

#### ◇生保のDX対応と営業職員制度改革

生保業界でもデジタル変革の動きは活発だ。顧客本位の業務運営に向けた営業の在り方を模索しているが、コロナ禍の長期化で、対面営業が困難になりつつある中で、当初、緊急避難的措置として非対面のオンライン営業の導入が進められたが、デジタルトランスフォーメーション（DX）対応を図る観点からも、本年1月の第二次緊急事態宣言が発令されて以降は、対面営業に変えてビデオ会議方式などの活用などによるオンライン営業を本格採用する生保会社も出て来るなど、生保営業の在り方も大きく局面転換の様相を見せている。

顧客本位の業務運営やDX対応に伴い、従来の対面活動中心で構築されてきた生保営業職員制度も再検討が必要になってきた。

なかでも営業職員の給与については、生活の安定や顧客への対面重視のため、各社とも、徐々に固定給部分を取り入れる方向にかじを切ってきたが、依然として、契約量の過少に比重をおく営業第一主義の歩合給（比例給）併用制度を堅持してきており、優秀な営業職員は歩合給が固定給を上回るケースや全額歩合給とする会社もある一方で、処遇が安定しないことから、短期で離職するケースが極めて高い（2年以内に半数が離職、いわゆるターンオーバー問題）が以前から業界の宿痾として問題視され、この抜本的対策の必要が課題とされてきたところだ。すなわち、新契約至上主義の経営スタンス、給与体系の見直しなしには営業職員の人材の質の安定確保はないという、いくなれば古くて新しい問題である。

こうした契約第一主義のもたらす問題点は何も生保に限ったことではなく、損保の世界でもいまだに色濃く残り、顧客本位の業務運営が叫ばれても、実情は形ばかりになりかねないところが残念であるが。

#### ◇営業職員も歩合給から固定給基調への転換

こうした中で、明治安田生命保険は、2月12日の日経報道等によると、2022年度から、営業職員の月例給与を全額固定給に切り替え、契約実績に応じて毎月変動させていた歩合給をなくし、収入を安定させることで人材の確保と定着を図る、ことにしたとのことだ。新型コロナウイルス感染拡大下では従来の対面による営業が難しくなり、収入の不安定さが浮き彫りになっていた。個々の成果は賞与に反映する。

すなわち、同社の営業職員（約3万6,000人）を対象に歩合給部分を定額で支給する方式に切り替える。職位に応じて基本給を設定し、1年間の勤務態度や実績の評価を上乗せして決める。1人あたりの給与は従来と同水準を保つ。処遇の安定で定着率を引き上げ、デジタル技術などを活用した営業改革を進める。

また、成果には賞与を増やして報いることとし、賞与の回数は現行の年2回から4回に増やす。賞与も含めた給与の総額は増やす方向で調整している。21年度は新制度で職員を評価する移行期間とし、22年度から導入するとのことだ。

#### ◇代理店評価も営業第一主義からの脱却必要

今回の同社の営業職員の給与制度を歩合給から固定給への切り替えは、その背景に、コロナ禍の長期化のもとで、顧客本位の業務運営やDX対応を推進しようとする経営戦略の一環として取られる必要がある。このチャレンジは業界内外に大きなインパクトを与えるはずである。顧客価値、社会課題解決への試みとして、また品質向上へ向けた新たなチャレンジとしての観点から、営業職員制度のみならず代理店の評価制度にも波及してくるムーブメントとなることを期待したい。というのも依然として、顧客本位の業務運営とは程遠い、規模拡大、営業数字第一主義の色合いの強い代理店評価制度が横行しているのだから。

（保険ジャーナリスト、inswatch 編集人）

## 墨俣の渡しから小熊の一里塚へ

美濃路は長良川を渡ると加納藩領だった岐阜市茶屋新田に着きます。享保13（1728）年5月3日、長良川を渡った象は、大勢の見物人たちに驚いたのでしょうか、暴走し茶屋新田の竹藪に逃げ込んだため加納藩の役人がきて対処したと起宿本陣の記録に残されています。

それはさておき、茶屋新田の「茶屋」の由来は、この場所に徳川家康が茶屋を設置したから名づけられたといえます。大垣市赤坂にもぼたん園で有名なお茶屋屋敷がありますが、これと同じで、家康が宿泊などの目的で設置したものです。のち茶屋屋敷の役目は本陣に代わっていきま

した。また「新田」という地名は各地にあります。いずれもおおむね江戸時代に新田開発されたものです。そういえば、かつて岐阜市に左兵衛新田という地名がありましたね。

美濃路は、茶屋新田から大江川、そして小熊の渡しがあった境川を渡ると羽島市小熊町に入ります。古くは、ここから尾張国だったのです。というのは天正14年（1590）と推定されている洪水以前までは、この境川が木曾川だったのです。



（一乗寺）

もともと、洪水以前に現在の木曾川筋に流れもあったようです。つまり古くからの一つの流れが、この時の洪水によって文字通り主流となったかもしれません。また、この洪水で新たな木曾川より西側、現在の羽島郡、羽島市一帯が尾張国から美濃国へ編入されたのです。川筋が変わると、とかく領地の帰属問題が派生します。太閤秀吉の時代だったので国境の変更がすんなり決まったのでしょう。

ところで、弘安3年（1280）11月17日、鎌倉に下る途中の飛鳥井雅有は、「この河は美濃と尾張との中を流れたり」（『春の深山路』）と渡し舟で渡った墨俣川のことを記



（小熊の一里塚跡の碑(右)）

していますが、その場所は墨俣川、つまり現在の長良川と境川の合流するあたりを示していると思われます。当時は、茶屋新田はその合流地点の河川敷だったかもしれません。

さて羽島市小熊町に入った美濃路ですが、美濃路から少し南下したところに銀杏が美しい一乗寺があります。もともと、この一乗寺に空海ゆかりの地蔵が安置されていましたが、織田信長によって岐阜町に移転させられてしまいました。しかし、地蔵は小熊に帰りたいと言ったので、信長は、移転した地を小熊（岐阜市小熊町）と改め、以来、小熊地蔵と呼ばれるようになったという伝説が残っています。

美濃路に戻ります。羽島市の境川南側の堤を東に進み、県道153号を渡るとまもなく小熊の一里塚跡に着きます。南側の一里塚が西小熊村で、北側の一里塚が東小熊村という村境にある一里塚で、西・東小熊の一里塚跡というべきでしょうか。それはともかく、このあたり古くには小熊宿があったといわれています。

（まつお・いち）ライフワークは民俗、地域史(近世交通史)

著書は『岐阜地理・地名・地図の謎』（監修・実業之日本社）、『みのひだ雑学』（岐阜新聞社）など多数



## ホームセキュリティの新提案

HOME ALSOOK  
みまもりサポート



安心を高齢者の皆様へ



# ALSOOK 日本ガード株式会社

本社：岐阜市茜部中島2丁目66-6  
U R L : <http://www.nihonguard.co.jp>

電話：058-274-0110  
e-mail : [eigyounihonguard.co.jp](mailto:eigyounihonguard.co.jp)

### ダメージカー(事故車・中古車)のご売却はタウにご相談ください

**査定無料・迅速対応 ▶ 抹消・名義変更も確実 ▶ 車両の引取・処分も無料**

#### タウがダメージカーを高価買取できる理由

世界には、事故や故障で壊れてしまったダメージカーを元の姿に修復し、再利用する文化が根付いた国々があります。タウは、このようなダメージカーに対する旺盛な需要が存在する世界100ヵ国以上に販売マーケットを拡大してきました。世界中のダメージカーマーケットを把握しているからこそ、「ダメージカーの高価買取」が可能なのです。



株式会社 タウ 名古屋支店 TEL:052-930-6711 FAX:052-930-6712  
愛知県名古屋市中区葵1-19-30 マザックアートプラザ10F E-mail:NAGOYA@tau.co.jp

TAU  
www.tau.co.jp

●本社：さいたま市中央区新都心11-2 LAタワー10F ●事業内容：事故車・中古車、自動車部品、ボート等の買取・販売・輸出  
●資本金：1億円 ●従業員数：336名(2013年9月末) ●売上高：156億円(2013年9月期)  
●ネットワーク／札幌、盛岡、仙台、水戸、高崎、埼玉、千葉、西東京、横浜、金沢、浜松、名古屋、大阪、神戸、広島、高松、福岡、熊本／ブリスベン、ウラジオストク、ドバイ





創業50余年。実績でお応えいたします。

株式会社 **ゴトウ自動車ガラス**

**自動車ガラスのコトならプロにおまかせ!!**

**くるまのガラス 救急隊!!**

フロントガラスを取り替えるなら、  
当社オススメ、夏も冬も大活躍。燃費もよくなります。  
**エンジェルガード/クールベール**



**見積無料  
出張サービスOK**

ガラス交換  
ガラスリペア  
カーフィルム  
カッティングシート  
ウォータースポットとり



看板制作も承ります。  
フルカラーのインクジェット印刷からカッティングシートまでご利用目的により、デザインから取付までお任せ下さい。

詳しくはホームページで  
<http://www.gag-jp.com>

■本社 岐阜県多治見市池田町2-48  
**TEL:0572-22-0175**  
FAX:0572-23-3510

■多治見店  
岐阜県多治見市池田町1-41  
**TEL:0572-22-0175** (代)  
(TEL対応可能)  
FAX:0572-23-3510  
営業時間 8:30~18:00  
日・祭日 9:00~17:00

■美濃加茂店  
岐阜県美濃加茂市本郷町6-116  
**TEL:0574-25-2390**  
(TEL対応可能)  
FAX:0574-25-1710  
営業時間 8:30~18:00  
定休日 日・祝日定休

■恵那店  
岐阜県恵那市大井町宮之前1116-38  
**TEL:0573-26-2611**  
(TEL対応可能)  
FAX:0573-25-4183  
営業時間 8:30~18:00  
定休日 日・祝日定休

■高山店  
岐阜県高山市下切町169-2  
**TEL:0577-33-4306**  
(TEL対応可能)  
FAX:0577-33-4307  
営業時間 8:30~18:00  
定休日 日・祝日定休

いつもお世話になっております。 **有限会社 イブカ** です。

※ 365日 24時間 レッカーサービス

どんな事故でも対応致します!



※ 365日 24時間 レンタカー現場配送サービス  
レッカーサービスと同じように御用命下さい。

**フリーダイヤル 0120-495-039** 携帯電話 090-3309-2925

岐阜本社 岐阜市柳津町南塚 4丁目 249 TEL 058-388-5678 FAX 058-388-5679

岐阜本荘営業所 岐阜市敷島町 9丁目 1-1

岐阜羽島営業所 羽島市足近町 3丁目 634-1

岐阜本社工場 羽島郡笠松町門間 726-1

< 今月の復旧事例 >



交差点で出会い頭の事故です。  
道脇の倉庫に、車が突っ込みました。鉄骨倉庫を復旧  
しましたが、フェンスが特殊のため工期が、二か月掛り  
ました。

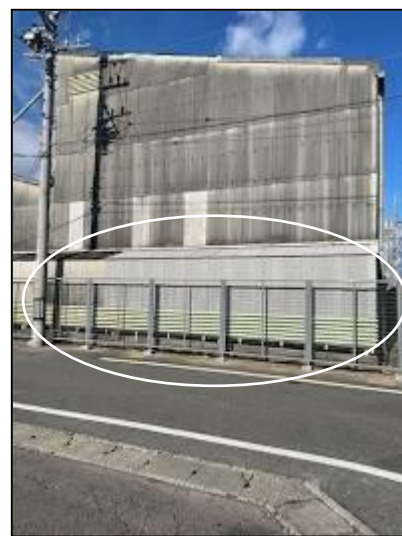
< 場所 > 岐阜 地域



施工前



仮養生



施工後

岐阜県損害保険代理業協会 提携会社

一級建築士在籍の **ホームステップ (株)イケダ**

☎ 058-271-6788 (24時間即日対応)

**情報ツールとして【クルマの下取り・買取りサービス】をご活用ください！**

★★★ ディーラーの査定とは違い、実際の中古車取引相場で査定します。

**車によっては、年式・キヨリに関係なく需要があり、大きく金額に差が出ます！** ★★★

**【お客様のこんなときにご利用ください！】**

- 車の乗替を検討 : 下取り額が納得できない。下取り額は妥当なの？  
⇒ **「ディーラー下取りと比較してみてください！」**
- 売却だけ検討 : どこに売れば？ 高くて信頼できる会社に売りたい！  
⇒ **「賛助会員のJCMにお任せ下さい！」**
- ディーラーでは値が付かない・・・ : 引取費用が掛かると言われた。  
⇒ **「古い車や事故車でもまずはご相談ください！」**



**【岐阜県損害保険代理業協会 賛助会員のJCMなら安心満足！下取りよりもお得】**

- ・ 宣伝・店舗等運営コストを抑えて買取り価格に還元、**高価買取り**を致します。
- ・ **無料出張査定**で手間や費用発生の心配がありません。ご指定場所まで訪問します。
- ・ **中古自動車認定査定士**（当社社員）が査定にお伺いし、対応いたします。
- ・ 売却を急かしたりせずお客様のご都合・代替のタイミングに合わせて対応します。
- ・ 車両代金は**現金決済も可能、名義変更手続きも無料で確実**に行います。

■■ 株式会社JCM名古屋支店

★担当 村瀬・山本 まで

■■

TEL:052-561-8899 / FAX:052-561-8893 HP: <http://www.jcmnet.co.jp/daikyo/>

# 委員会報告

## 【広報機関誌委員会】

1月29日より5週連続でPM6時25分より岐阜県代協のオリジナルラジオCMが放送されています。1月29日は岐阜支部企画環境委員長の井戸さん、2月5日は東濃支部 広報機関誌委員の田口さん、2月12日は中濃支部 支部長丸野さんにスタジオマーサ21特設スタジオにてパーソナリティーで著名な久世良輔さんと公開生放送にてトークいただきました。2月19日の飛騨支部 広報機関誌副委員長の馬場さん、2月26日 畦地前会長の出演報告は3月号にて行います。



(1/29 岐阜支部 企画環境委員長の井戸さん)



(2/5 東濃支部 広報機関誌委員の田口さん)



(2/12 中濃支部 支部長の丸野さん)

## 編集後記

春が近づいてきました。三寒四温とはよく言ったもので、暖かい日と寒い日が繰り返し訪れています。気温の変化は体調を崩しやすいものです。コロナも落ち着いてきているとはいえ、まだまだ波は繰り返し訪れるかもしれません。緊急事態宣言が解除されても、マスクや三密回避はまだまだ続くでしょう。皆さまも健康には十分注意してください。

(高橋 励)

発行日／2021年 2月25日

責任者／遠藤昌克

発行／広報機関誌委員会

〒501-0204 瑞穂市馬場春雨町 1-50-2 Tel 058-329-0050 Fax 058-329-0040

E-mail : [gfaikyo@opal.ocn.ne.jp](mailto:gfaikyo@opal.ocn.ne.jp) <http://gifudaikyo.or.jp/>

### 【編集室メンバー】

徳永 徹、高橋 励、馬場浩之、後藤哲裕、小林一嗣、宇野美佐、田口友喜、  
遠藤昌克、森 信彦